

研究種目：基盤研究（C）

研究期間：2006～2009 年度

課題番号：18520333

研究課題名（和文） 漢語の影響下におけるモンゴル語近代語彙の形成

研究課題名（英文） Formation of the Mongolian Modern Vocabulary in the Influence of Chinese

研究代表者 呼とバテール (Huhbator)

昭和女子大学 生活機構研究科 准教授

研究者番号：80338540

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：言語学・言語学

キーワード：①社会言語学 ②言語接触 ③モンゴル語 ④漢語 ⑤翻訳語彙

1. 研究計画の概要

中国と日本の政治的、文化的影響が強かった「内モンゴル」（現在の中国、内モンゴル自治区）ではモンゴル語語彙の近代化がどのように行われてきたのか。本研究では、まず日本、中国、モンゴル国、ドイツなどの諸資料館から収集された膨大な一次資料を整理、分析し、調査が不十分な国や地域での再調査を実現させる。それにより、この分野における研究の基盤を築き上げる。

具体的には、モンゴル語近代語彙形成の初期段階にあたる 20 世紀初期の重要なモンゴル語文献、とりわけ『蒙話報』(Mongyul üsüg-ün bodurul) 誌 (1908 年創刊) の資料及び語彙の分析を極めることにより、現代モンゴル語における数多くの語彙の出典を明らかにする。

2. 研究の進捗状況

翻訳語彙や文化語彙などと言われているヨーロッパ諸語から導入されてきた近代的な概念を表す語彙——本研究では「近代語彙」と呼んでいる——の研究は、日本でも中国でもある時代に作られた諸辞書に掲載された単語を中心に分析が行われてきた。しかし、モンゴル語ばあいは、モンゴル語を諸外国語に訳した辞書はいろいろあっても、外国語、特にヨーロッパのある言語をモンゴル語に翻訳した辞書の登場がたいへん遅かったため、本研究での分析の対象となる語彙資料を主として 20 世紀初期から発行されはじめたモンゴル語の定期刊行物——新聞や雑誌から集めなければならない。

したがって、モンゴル語近代語彙の研究をするためにはまずモンゴル語定期刊行物を収集し、研究することが求められる。しかし、モンゴル語定期刊行物の多くが政治的プロパガンダのために刊行されていたため、中国では次の政権により意図的に廃棄されるようなこともあり、実際、その収集はたいへん手間や時間がかかる作業であった。

本研究では、第二次世界大戦以前外国人研究者などによって海外に持っていかれ、各国で保存されていた貴重なモンゴル語定期刊行物を長年にわたって収集してきた蓄積があったため、この数年間の研究調査により、資料収集は基本的に完了し、基本資料及び重要な文献はほぼ入手済みとなっている。それにより、平成 18 年度以来も、資料の段階的公表及び資料分析を行いつつ、研究成果を順次報告してきた。

今後は、本研究の最終的まとめの段階に入る。具体的な研究計画や推進方針は後記 4 に見る通りで、本研究のこれまでの研究実績は、後記 5 に見る通りである。

本研究の目的及び研究計画から考えて、現段階では、その約 7 割を完成できたと考えることができる。残りの約 3 割については、後記 4 に掲げた計画通りに進め、夏休みに集中して取り組み、春休みが終了するころには基本的に完成させておきたいと計画している。

3. 現在までの達成度

おおむね順調に進展している。

長年にわたる資料収集の蓄積があったこ

と及び研究成果を随時報告できる学内学術雑誌を多く利用していたためである。

4. 今後の研究の推進方策

引き続き、モンゴル語近代語彙の登場にとって母体的な存在である前記『蒙話報』(Mongyul üsüg-ün bodurul)という「蒙漢合璧」雑誌における語彙の分析を行ない、本誌の語彙をモンゴル語初期の近代語彙集としてまとめる。具体的には次のように研究を実施する。(1)、『蒙話報』誌27期と33期の近代語彙を抽出し、分析と整理を行う。(2)、「モンゴル語近代語彙登場の母体——『蒙話報』誌(七)」執筆し、定期刊行物と語彙資料としての本誌の一部を分析、公表する。(3)、現在まで執筆した「モンゴル語近代語彙登場の母体——『蒙話報』誌一～七(予定)」を修正し、まとめあげる。(4)、『蒙話報』誌全体の語彙をまとめ、出典を明記したモンゴル語初期の近代語彙集としてしあげる。これにより、モンゴル語近代語彙形成の基盤研究としての『蒙話報』の語彙研究を基本的に完了させる。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3件)

①フフバートル モンゴル語近代語彙登場の母体——『蒙古話』誌(六)——資料比較にみる外国語固有名詞のモンゴル語表記——(『学苑』816号 昭和女子大学近代文化研究所)

査読の有無：有

発行年：2008年10月

最初と最後の頁：31～39頁

②フフバートル 中国領内発行の古いモンゴル語定期刊行物——モンゴル語定期刊行物の所蔵と研究の状況——(『学苑』799号 昭和女子大学近代文化研究所)

査読の有無：有

発行年：2007年5月

最初と最後の頁：76～89頁

③フフバートル モンゴル語近代語彙登場の母体——『蒙話報』誌(五)——近代語彙の抽出・分類及び存廢の時代別考察——(『学苑』787号 昭和女子大学近代文化研究所)

査読の有無：有

発行年：2006年5月

最初と最後の頁：13～25頁

〔学会発表〕(計 1件)

①フフバートル Transition of Foreign Names in Modern Mongolian: Through the Comparison with "Menghua Bao" and the Mongolian Version of "Wnaguo Gongfa" (A New Global Order in North East Asia Proceeding of the International Symposium on Global Order from the Perspective of Archives, History, Literature, and Media——Focus on North East Asian Society—— June 23-25, 2008 Ulaanbaatar, Mongolia)

〔図書〕(計 1件)

①フフバートル モンゴル語の近代語彙としての外国名とその初期の記述について (『北アジアの新しい秩序を探る国際シンポジウム「アーカイブ・歴史・文学・メディアからみたグローバル化のなかの世界秩序——東北アジア社会を中心に——論文集』

風響社)

査読の有無：無

発行年：2009年3月

最初と最後の頁：267～276頁